

あいち生物多様性企業認証制度及び生物多様性マッチングについて

1 今年度の進捗状況

(1) あいち生物多様性企業認証制度

企業の生物多様性保全に関する取組を促進し、優良な取組が県内に広がることを目的として、優れた取組を実践している企業を認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を昨年度から運用している。

今年度は16社から申請があり、外部有識者による審査会を実施した結果、優良認証企業として6社、認証企業として10社（計16社）を認証した。2023年11月10日（金）に認証式を開催し、愛知県知事から認証書の授与を行った。



※認証式の様子

2023年度の認証企業：

<優良認証>6社

アイシン辰栄（株）、いちい信用金庫、河村電器産業（株）、（株）creato、中部国際空港（株）、戸田建設（株）名古屋支店

<認 証>10社

内浜化成（株）、（株）建設環境研究所中部支社、（有）志多ら、住友理工（株）、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ（株）、テクノエイト（株）、日本ガイシ（株）、林テレンプ（株）、富士電機（株）中部支社、（株）紅久

※詳細な取組概要は、次頁のとおり。

【認証企業の累計数】

優良認証企業 21社
認証企業 34社 全55社

【認証企業の傾向】

業 種：製造業、建設業、造園業、エネルギー業界、金融機関など
規 模：大企業から中小企業まで、工場単位の認証も有り

(2) 生物多様性マッチング

生物多様性の取組を模索している事業者と担い手を必要としている自然環境保全団体等との連携を促す「生物多様性マッチング」を2019年度から実施している（連携事例は下表参照）。現在は、市民団体と事業者間のみならず、保全活動を行っている団体・事業者等の2者について、双方の支援希望等が合致して合意すればマッチングを実施している。

<マッチング件数>

年 度	2019	2020	2021	2022	2023 ※12月時点
件 数	4	4	3	5	3

<マッチングを活用した連携事例>

- ・里山の整備作業に従業員を派遣
- ・外来種駆除の指導
- ・地域在来種の苗木を提供
- ・希少植物の移植に協力
- ・保全ノウハウの提供 等

2 今後の取組

- 企業認証制度：積極的に周知を図り、優良な取組が広がることを促す。企業向けのセミナーや優良認証企業の保全活動を学ぶ体験会を開催することにより、保全活動に取り組む事業者の拡大を図る。

制度の概要

対象：愛知県内に本社又は事業所を置く企業（企業全体又は事業所（工場・支店・支社営業所等）単位）

認証期間：5年間（5年毎に更新）

評価項目等：組織の方針・体制等に加え、戦略で企業に求めている四つの基本方針^(注)を踏まえた評価項目を設定。認証を受けるには、この評価項目において所定の基準を満たすことが必要

(注) ①（豊かな生態系を）まもる、②（生息生育空間を）つなげる、③（生きものの恵みを）つかう、④（人と自然との共生を）ひろめる、の四つの基本方針。

認証区分：①優良認証 広がり・継続性等がある特に優れた取組を実施

②認 証 生物多様性保全に貢献する取組を実施

認証企業のメリット：愛知県産材を利用した認証書を授与

認証企業マーク*を名刺や会社案内などで使用可能

各認証企業の取組を県自然環境課のWebページで紹介



※認証マーク

<認証マークの趣旨>

いのち輝く青い地球を、両手で優しく包み込む様を描いたマーク。両手に見立てた2つの図形は動植物など生命をイメージ。手と地球の間に「aichi」の頭文字「a」を表し、愛知の取組がグローバルにつながっていることを表現しています。グリーンからブルーへのグラデーションは、多様な生態系を育む水、緑、空を表すとともに、生物多様性を守り育む意識が未来へ伸びやかに育っていく願いを込めています。

認証企業一覧

(1) 優良認証企業 (6社)

(五十音順)

企業名	所在地	主な取組の概要
アイシン ^{しん} 辰 ^あ 栄株式会社	碧南市	工場内のビオトープにおいて、碧南海浜水族館から譲り受けた希少種の魚ウシモツゴの保全を有識者と連携して実施している。ビオトープは定期的に外来種駆除や整備活動を行うほか、年1回、専門家によるビオトープ内の生態系調査を実施し、状況を把握している。 近隣の団体や社員の家族等を対象に、ビオトープの見学会・勉強会を実施している。
いちい信用金庫	一宮市	子供たちにまちの中で自然の素晴らしさ、美しさを感じてもらうため、本店隣接地にビオトープ「ホタルの庭」を設置し、ヘイケボタルが生息できる環境の保全に努めている。毎年6月には、地域の子供たちを招いてホタル観賞会を実施している。ホタルの庭では希少種の植物コウホネが自然に生えていることが確認されているほか、定期的に外来種駆除も実施している。
河村電器産業株式会社	瀬戸市	自社で運営しているサッカークラブ、カワムラFCに所属する中学生を対象に、海洋プラスチックごみが環境に与える影響などをテーマとしたSDG s教室を開催しているほか、瀬戸市役所及び近隣企業と連携し、オオサンショウウオの保全活動を継続的に実施している。 瀬戸市内にある本地工場では、2016年より敷地内に新しくビオトープを設置し、水辺の植物の保全や、ホタルが根付くビオトープを目指して活動している。
株式会社 ^{クリアウォータープロジェクト} creato	名古屋市 天白区	一般社団法人Clear Water Projectの運営を通して、環境保全活動を多岐にわたり行っている。 外来種駆除や普及啓発を目的とする子どもたちへの環境教育、ボランティアと協力した持続可能な自然環境整備を実施している。 豊田市役所と協力し、小学校での出前授業や河川での生き物講座を開催している。愛知県東三河総局主催のイベントにおいても社員が講師を務めるなど、生物多様性保全の普及に努めている。
中部国際空港株式会社	常滑市	海域環境保全を目的とした木曾三川上流及び下流での連携した保全活動を進めており、愛知県内で海岸清掃、上流部の長野県及び岐阜県内で植林活動を主体的に実施している。 空港内の事業者等と連携して海洋のごみでクリスマスツリーの装飾品を作成し、海洋ごみ問題パネルと共に空港内に展示し、空港利用者への啓発を実施した。空港島護岸で生育する藻類アカモクについて、未利用資源の活用プロジェクトを実施した。
戸田建設株式会社 名古屋支店 ※	名古屋市 東区	「戸田建設生物多様性行動指針」を2010年に策定し、建設事業における生物多様性への影響の回避・低減・代償に努めている。 建設工事の際に確認された希少種の鳥コアジサシについて、繁殖地・営巣地(コロニー)を保護する取組を、専門家から助言を受けながら行うとともに、この取組を土木学会で発表し、業界関係者に発信した。また、社屋屋上の在来植物での緑化やオオキンケイギクの駆除活動も実施している。

※戸田建設株式会社名古屋支店は、2022年度にあいち生物多様性企業認証制度の認証を取得。

(2) 認証企業 (10社)

(五十音順)

企業名	所在地	主な取組の概要
内浜化成株式会社	豊田市	豊田市内の里山「お ^{くわやま} 鋳山」において、地元自治区や高校と連携した里山保全活動を実施しており、希少種の植物シデコブシの保全も行っている。外来種であるアレチウリの駆除、カブトムシの生息地確保を行いながら、地元の自然交流の場として整備し、地元自治区とともに里山の普及啓発活動も行っている。
株式会社建設環境研究所 中部支社	名古屋市 中区	豊川上流部の寒 ^{かんきがわ} 狭川のイベントで、河川の生態系に関する勉強会を開催し、参加者に生物多様性の重要性を周知している。県内学校を訪問し、ビオトープ整備を共同で実施するなど、専門知識を活かした保全活動を実践している。
有限会社志 ^し 多 ^た ら	東栄町	地域の伝統芸能である花祭りを受け継ぎながら新たな文化を創造するプロの和太鼓集団。廃校となった学校をもとに地域振興のために設置された「のき山学校」の運営に協力し、自然環境の整備活動や間伐材を利用したイベントの開催などを行っている。
住友理工株式会社	小牧市	外来種のオオキンケイギク駆除や、小牧本社に隣接する大山川の清掃、その上流の里山整備など、事業と直接関わる近隣地域の環境保全・回復活動を小牧市や市民団体、近隣企業と実施している。更に、自社で助成金制度を有しており、自然共生地域団体への支援を実施している。
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社	幸田町	幸田サイト内にある「ソニーの森」で、「フクロウの棲む森づくり」を目指して、巣箱の設置や整備活動を実施している。毎年、地域の小学生等を招き森の探検学習を開催しているなど、普及啓発も活発に行っているほか、西三河生態系ネットワーク協議会において主体的に活動を行っており、ソニーの森で育成した地域性苗木を、地域の植樹活動に提供している。
テクノエイト株式会社	瀬戸市	瀬戸市内において、瀬戸市役所や近隣企業と連携し、オオサンショウウオの保全を目的とした蛇ヶ ^{しやがほらかわ} 洞川の清掃活動や、外来種であるオオキンケイギクの駆除を実施している。会社所有地の緑化にも注力しており、地域的な植物が生育している「テクノの森(仮称)」を継続的に整備している。
日本ガイシ株式会社	名古屋市 瑞穂区	現役大学生や教職員と交流し、生物多様性やカーボンニュートラル、資源循環社会への取組について意見交換を行う機会を作っている。また、名古屋市内に豊かな生態系を有する社有地を有しており、生物調査や普及啓発を行っている。
林テレンプ株式会社	名古屋市 中区	豊田市の ^{かめくび} 亀首湿地において、地元の保全団体と協働して、シラタマホシクサやウンヌケなど希少種の生育する良好な環境を守るため、草刈りや湿地の日照確保のための樹木伐採、外来種対策などの保全作業を継続的に実施している。
富士電機株式会社 中部支社	名古屋市 中区	長久手市内で耕作放棄地の再生を通じて自然との共生及び生態系ネットワークの形成を進める活動を実施している。再生した水田では農業や重機を使用しない農業を展開しており、希少な水生昆虫の生息地となっているほか、学生への普及啓発も行っている。
株式会社 ^{べにきゆう} 紅久	豊橋市	東三河の朝倉川 ^{あさくらがわ} 川辺で環境保全活動を行うNPO法人朝倉川育水フォーラムの会員として主体的に活動を行っている。例年、地域住民や他団体とともに朝倉川の河畔林の整備や清掃活動を実施しており、普及啓発の場ともなっている。